

資料3 いじめられた児童生徒・いじめた児童生徒に見られるサイン

1 いじめられた児童生徒に見られるサイン

いじめられた児童生徒は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場面	サイン
登校時 朝の会	遅刻・欠席が増える。また、その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 挨拶の声に元気がない。 体調不良を訴えたり、表情が暗かったりしている。 身体に傷や殴られた痕がある。 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。
授業中	保健室・トイレに頻繁に行くようになる。 学習用具等の忘れ物が目立つ。 机周りが散乱している。 教科書やノートに汚れや落書きがある。 教職員や児童生徒の発言などに対して、突然個人名が出される。
給食中	一人だけ机を拭いてもらえない。 給食当番で、意図的に少ない量のを配膳される。 班で食べる時、机を離されたり、会話に入れてもらえなかったりする。 食欲がなくなる。 給食のおかずやデザートを嫌いでもないのに他人にあげている。
休み時間	用事もないのに、職員室や保健室の近くにいることが増える。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 一人でポツンとしていたり、所在なくうろうろしたりする。 友達が急に変わったり、教職員が友達のことを聞くと嫌がったりする。
放課後 部活動等	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。 一人で部活動の準備、片付けをしている。 一人で下校する。

2 いじめた児童生徒に見られるサイン

いじめた児童生徒がいることに気が付いたら、積極的に児童生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしたり、目配せしたりする。 ある児童生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている。 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童生徒がいる。